

総合人文科学研究センター 活動報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

DC セミナー

2019年4月10日(水)

「文学研究科生のための『日本学術振興会特別研究員(DC)』応募チャレンジセミナー」では、文学学術院の助手・助教・講師(任期付)などから、文学研究科生に向けて日本学術振興会特別研究員DC採用を目指したセミナーをおこなっている。

人文研所長・陣野先生による開会挨拶に続き、文学学術院事務所科研費担当の飯塚氏がDC応募の流れと諸注意点、昨年度の早稲田大学また文学研究科における応募者数と合格者数に関して、説明した。その後、平成28年度DC2採用者である赤松秀亮氏(人文研助教)と吉田隼人氏(人文研助手)が、自身の経験をふまえながら、DC応募書類作成の諸注意点などについて説明をおこなった。最後に、下記の助手・助教・講師(任期付)による質問会を設けた。

熱田敬子氏 [専門: 社会学]

吉原将大氏 [専門: 心理学]

山崎世理愛氏 [専門: 考古学]

寺嶋雅彦氏 [専門: 哲学]

吉田隼人氏 [専門: フランス文学]

赤松秀亮氏 [専門: 日本史学]

ランチセミナー

2019年5月29日(水)・6月26日(水)

第1回～2回 ランチセミナー 早稲田大学33号館第1会議室

「ランチセミナー」では毎年、当センターが目指す人文学領域における活発な横断研究の促進を図るため、当該年度に文学学術院に着任した教授、准教授、専任講師らに研究紹介を頂いている。本年度は全2回のセミナーを設けた。

第1回登壇者(5月29日)

三浦清美 教授(ロシア語ロシア文学)

山本聡美 教授(美術史)

下村周太郎 准教授(日本史)

第2回登壇者(6月26日)

澤崎文 専任講師(日本文学)

細馬宏通 教授(表象・メディア論)

池田祥英 准教授(社会学)

中島さやか 准教授(第二外国語教育)

2019年度 総合人文科学研究センター年次フォーラム

2019年12月7日(土) 早稲田大学国際会議場

国際シンポジウム「産業での労働・経験をどのように記録し、継承するか: 石炭産業の場合」

【主催】早稲田大学総合人文科学研究センター「知の蓄積と活用にむけた方法論的研究」部門

【共催】New Directions in Coal Mining History and Heritage in the UK and Japan: ESRC-AHRC UK-Japan SSH

Connections Grants / 産炭地研究会 (JAFCOF)

【後援】 日仏会館・フランス国立日本研究所

【協力】 オフィス熊谷 / 東洋大学井上円了記念研究助成

開会の辞 陣野英則 (早稲田大学文学学術院副院長・同総合人文科学研究センター所長)

研究発表1 博物館の視点に基づく記録

司会: 島西智輝 (東洋大学)

報告: Shaun McLoughlin (National Mining Museum England)

Keeping the Stories of Coal Mining Alive

報告: 福本寛 (田川市石炭・歴史博物館)

筑豊における炭坑の記憶継承

コメンテーター: Bernard Thomann (INALCO、日仏会館・フランス国立日本研究所)

研究発表2 外国人研究者の視点に基づく記録

司会: 中澤秀雄 (中央大学)

報告: Mark Pendleton (The University of Sheffield)

New Directions: Thinking about Gender, Labour and the Environment in UK and Japan Coal Mining History

報告: 清水拓 (早稲田大学)

現役炭鉱と閉山炭鉱の技術と労働を記録する: 日本・ベトナム・台湾でのフィールドワークから

コメンテーター: Chelsea Szendi Schieder (青山学院大学)

研究発表3 歴史的視点に基づく記録

司会: 嶋崎尚子 (早稲田大学)

報告: Keith Gildart (University of Wolverhampton)

Revisiting the History of the Nationalised British Coal Industry: History, Legacy, Memory and Place

報告: 熊谷博子 (ドキュメンタリー映画監督)

炭鉱の記憶と記録を未来につなぐ

コメンテーター: 好井裕明 (日本大学)

*本フォーラムの報告内容については、本誌「特集3 2019年年度フォーラム開催報告」を参照のこと。

英語論文執筆セミナー

2019年4月24日(水)、11月27日(水)

早稲田大学戸山キャンパス33号館16階第10会議室

講師: ライアン・スティーブン (RYAN Stephen) 教授 (早稲田大学文学学術院)

参加者: 早稲田大学大学院生

キャリア初期研究者支援の一環として、DCセミナーと合わせて、本年度に2回英語論文執筆セミナーを開催した。本セミナーは、若手研究者による英語論文執筆の支援を目的として開催され、2回合わせて大学院生約30名の参加を得ることができた。

早稲田大学比較文学研究室

2020年3月

【刊行】『比較文学年誌』第56号の編集・発行

2019年

【刊行】伊東一郎『ガリツィアの森——ロシア・東欧比較文化研究——』（水声社）刊

2019年7月5日（金）

【主催】第224回月例発表会

2件の報告がおこなわれた。

2019年7月20日（土）

【後援】シンポジウム「破壊と視覚表象 日本近代の〈イコノクラスム〉をめぐって」

トランスナショナル社会と日本文化

2020年1月11日 早稲田大学戸山キャンパス 33号館第1会議室

【主催】国際シンポジウム「南蛮史料研究の新地平」

*共催：早稲田大学 スーパーグローバル大学創成支援（SGU）／早稲田ラテンアメリカ研究所／早稲田大学
多元文化学会／早稲田大学総合人文科学研究センター「グローバル化社会における多元文化の構築」研究部門／科学研究費補助金基盤研究（C）「ルイス・フロイスによる日本情報に関する総合的
研究」

開会の辞 川尻秋生（早稲田大学文学学術院長）

セッション1 イエズ会の日本布教

Paula HOYOS HATTORI（Assistant Professor, University of Buenos Aires）

「驚異と野蛮のあいだ—16世紀における日本人の性格に関するイエズス会士たちの描写」

岡本真（東京大学助教）

「受洗以前の小西氏に関する一試論」

José Miguel PINTO DOS SANTOS（Researcher, NOVA University Lisbon）

「信仰の広がり—1549～1614年の日本でのイエズス会布教活動における教理口授法、教義と論争」

Charles Julius BORGES（Associate Professor of History, Loyola University Maryland）

「16～17世紀のイエズス会の記述における日本観察」

セッション2 美術への結晶

Timon SCREECH（Professor, University of London, SOAS）

「ヨーロッパ絵画の主題としての日本でのキリスト教宣教師たち」

川田玲子（滋賀大学非常勤講師）

「日本で殉教（1597年）したメキシコ人フェリーペ・デ・ヘスス」

児嶋由枝（早稲田大学教授）

「日本のイエズス会画派と東アジアの宣教美術—マカオ、マニラ、長崎」

成澤勝嗣（早稲田大学教授）

「南蛮屏風の変遷」

セッション3 相互認識を語る

谷口智子（愛知県立大学教授）

「グレゴリオ・デ・セスベデスと文禄の役」

伊川健二（早稲田大学教授）

「天正遣欧使節の史料学」

滝澤修身（長崎純心大学教授）

「天正少年使節—スペイン史料からの再考—」

根占献一（学習院女子大学教授）

「キリシタン時代の自己認識と他者意識——文化的・思想的資料から」

2019年5月24日、6月29日、2020年1月11日、2月26日

【共催】「朝河貫一学術協会」第4、5、7、8回研究会

グローバル化社会における多元文化学構築

2019年6月27日 早稲田大学戸山キャンパス36号館581教室

【共催】早稲田大学多元文化学会2019年春期大会シンポジウム「アラブ音楽からみる世界」

*主催：早稲田大学多元文化学会

*共催：早稲田大学文化構想学部多元文化論系／早稲田大学総合人文科学研究センター「拡大するムスリム社会との共生：歴史的背景とグローバル化」研究部門

登壇者：木村伸子（アラブ音楽研究者、ヴァイオリン奏者）

高島拓也（ダルブッカ奏者）

小沼純一（文学学術院教授）

司会：佐藤尚平（文学学術院准教授）

2019年10月26日 早稲田大学戸山キャンパス34号館151教室

【共催】早稲田大学多元文化学会秋期研究発表会

*主催：早稲田大学多元文化学会

*共催：早稲田大学文化構想学部多元文化論系

発表者：矢田陽子（早稲田大学非常勤講師）

「米国へ：「運び屋・ミュール」中米コロンビア女性の表象から見えてくるもの」

発表者：久住康熙（早稲田大学大学院文学研究科修士課程）

「フランス帝国主義の協力者達：エジプトとハイチの事例から」

2020年1月11日 早稲田大学戸山キャンパス33号館第1会議室

【共催】国際シンポジウム「南蛮史料研究の新地平」

*主催：早稲田大学総合人文科学研究センター「トランスナショナル社会と日本文化」研究部門

イメージ文化史

2019年4月20日（土）

【主催】連続ワークショップ「マンガの体験、メディアの体験」第3回

「マンガと幻灯・アニメーション」3件の発表がおこなわれた。

2019年5月31日（金）

【主催】連続ワークショップ「マンガの体験、メディアの体験」第4回

「マンガとキャラ」3件の発表がおこなわれた。

2019年11月9日（土）

【主催】連続ワークショップ「マンガの体験、メディアの体験」第5回

「マンガと出版・配信・展示」2件の発表がおこなわれた。

2019年7月13日（土）

【主催】連続ワークショップ「アニメーションのイメージとはなにか」第1回

発表と共同討議がおこなわれた。

2019年12月21日(土)

【主催】連続ワークショップ「アニメーションのイメージとはなにか」第2回
発表と共同討議がおこなわれた。

2020年1月12日(日)

【主催】連続ワークショップ「アニメーションのイメージとはなにか」第3回
発表と共同討議がおこなわれた。

2020年1月24日(金)

【主催】マルタン・リュエフ講演会「詩的なイメージは存在するか？」

東アジアの人文知

2019年7月24日 早稲田大学33号館第10会議室

【主催】第9回国際フォーラム「越境する人文知」

6本の報告が行われた

2019年7月28日 早稲田大学36号館681教室

国際シンポジウム「東アジアの一統志」

2019年9月15日 早稲田大学33号館第1会議室

陳雪、李琴峰講演会「何が描かれるべきなのか？—セクシュアルマイノリティ文学再考」

2019年11月2日 早稲田大学33号館第11会議室

第2回4校ワークショップ「メディアにおける文化意識」

2019年12月17日 早稲田大学33号館第11会議室

浙江大学中文系の大学院生との交流会

2019年12月21日 早稲田大学33号館第11会議室

台湾大学中文系との若手研究者国際シンポジウム「21世紀中国研究的新面向—語言、文學、文化」

2020年1月29日 早稲田大学33号館第11会議室

【主催】第10回国際フォーラム「越境する人文知」

4本の報告が行われた

行動・社会・文化に関する多角的アプローチ

2019年9月28日

【主催】2019年度第1回勉強会

1. 諏訪園秀吾(国立病院機構沖繩病院)
脳波電極装着法の実技実演および脳波測定の実際
2. 橘光貴(早稲田大学) 他
日野研究室データ発表

3. 諏訪園秀吾（国立病院機構沖縄病院）

呼びかけに対する脳反応

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

2019年4月24日 研究会議+研究例会 戸山キャンパス39号館第7会議室

松村治（NPO健康心理教育実践センター理事）

「原発事故から8年たった東雲住宅〈江東区〉—その間の避難者の動向」

2019年5月28日 研究会議+研究例会 戸山キャンパス39号館第7会議室

浦野正樹（早稲田大学文学学術院教授）

「『大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究』をめぐって：研究趣旨とその背景」

2019年6月26日 研究会議+研究例会 戸山キャンパス39号館第5会議室

石倉義博（早稲田大学理工学術院教授）

「津波被災からの生活再建過程：釜石A市地区住民の8年間」

2019年7月30日 研究会議+研究報告 戸山キャンパス39号館第7会議室

池田恵子+浅野幸子報告

「ジェンダー視点の災害研究の国内外の動向：復興指標への示唆」

2019年10月11日 研究会議+研究報告 戸山キャンパス39号館第7会議室

小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部専任講師）

「災害復興とは何かを再考する～当事者の「生」を成立させるという視点から～」

2019年11月20日 研究報告 戸山キャンパス39号館6階第7会議室

川村匡由（武蔵野大学名誉教授）

「防災・減災と地域福祉～社会保障学者としての研究実践を踏まえて」

2019年12月18日 研究会議+研究報告

「東日本大震災の津波被災地域における復興課題」

2020年1月25日 戸山キャンパス33号館第11会議室

【共催】〈あれから9年～わたしたちはフクシマを忘れない〉シンポジウム「帰還しないと決断したふるさととの絆」

*共催：シニア社会学会「災害と地域社会」研究会／科学研究費補助金・基盤研究A「大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究」（研究代表者・浦野正樹）

司会・進行：川副早央里（東洋大学社会学部社会学科助教）

松村治（早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員）

話題提供者：大橋庸一（いわきまごころ双葉会事務局長）

今里雅之（かながわ東北ふるさと・つなぐ会会長）

岡田有一（やまがたなみえコスモス会会長）

コメンテーター：高木竜輔（尚絅学院大学准教授）

浦野正樹（早稲田大学教授）

2020年3月20、21日 戸山キャンパス33号館第1会議室 ※Zoomによる遠隔会議システムを部分的に導入

【共催】第6回震災問題研究交流会

*主催：震災問題研究ネットワーク

*共催：日本社会学会震災問題情報連絡会

3月20日：「災害ボランティアと地域防災の担い手、及びその育成」「原子力災害と避難生活／復興への課題をめぐって」「復興支援と被災地住民の生活選択」の3つのセッション及び新型コロナウイルス感染症への対応を含む研究ネットワークの今後をめぐる懇談会開催

3月21日：3つの科研調査セッション「災害過程の各段階における達成指標／復興指標に関して」「現地調査を踏まえた災害過程／復興過程に関して」「復興政策及び科研調査全般に関して」及び、書評セッション「震災と学校のエスノグラフィー」を開催

知の蓄積と活用にもつた方法論的研究

2019年9月6日（金）・7日（土）

個別アーカイブズとの連携事業、大阪産業労働資料館エル・ライブラリーとの連携活動：

三井三池炭鉱合理化離職者・家族の追跡関連資料の検討研究会

参加者：谷合佳代子（エル・ライブラリー館長）、千本沢子（エル・ライブラリー学芸員）、鶴飼雅則（炭都三池文化研究会主宰）、嶋崎尚子（早稲田大学教授）、木村至聖（甲南女子大学准教授）、笠原良太（早稲田大学助手）、新藤慶（群馬大学教授）、畑山直子（日本大学助手）

2019年12月6日（金）早稲田大学戸山キャンパス453教室

【主催】ドキュメンタリー映画『作兵衛さんと日本を掘る』（2019）上映会

共催：早稲田大学文学部社会学コース・日本語日本文学コース

映画上映

対談：熊谷博子監督×嶋崎尚子×鳥羽耕史

2019年12月7日（土）早稲田大学国際会議場

【主催】国際シンポジウム

「産業での労働・経験をどのように記録し、継承するか：石炭産業の場合」

共催：New Directions in Coal Mining History and Heritage in the UK and Japan: ESRC-AHRC UK-Japan SSH Connections Grants / 産炭地研究会（JAFCOF）

後援：日仏会館・フランス国立日本研究所

協力：オフィス熊谷／東洋大学井上円了記念研究助成

*詳細は、彙報「2019年度総合人文科学研究センター年次フォーラム」参照

【論文、記録】『WASEDA RILAS JOURNAL』No.7「特集2」（2019年10月）

1. 嶋崎尚子（早稲田大学教授）

「震災とアーカイブ」

2. 野坂真（早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員、同学文化構想学部助手）

「東日本大震災後の岩手県津波被災地域におけるアーカイブ活動の経緯と課題：大槌町安渡地域アーカイブプロジェクトを中心事例として」

角田柳作国際日本文学研究所

2019年4月6日 戸山キャンパス33号館第10会議室

【主催】講演会「日本文学が世界遺産だとすれば一現在を過去に繋げる古典、記憶、アイデンティティ」

- * スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点も主催
- * 共催: 早稲田大学日本古典籍研究所
- * 後援: European Union's Horizon 2020 research and innovation programme MSCA grant agreement No 792809
- 講演者: エドアルド・ジェルリーニ (カフオスカリ・ヴェネツィア大学マリキュリー・フェロー、早稲田大学文学学術院訪問学者)

2019年5月9日 戸山キャンパス 33号館第10会議室

【主催】講演会「日本漢詩文における規範と破格—平安中期の「国風」の発見を見直す— Sinitic Literature in Heian Japan: Universal Standards Versus Local Practices」

* 早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース (Global-J) / スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点も主催

* 共催: 早稲田大学日本古典籍研究所

講演者: ブライアン・スタイニンガー (プリンストン大学東アジア学部助教授)

2019年5月24、25日 戸山キャンパス第10会議室・第5会議室

【主催】2019年度東アジア知識人文学国際学術大会 韓国・檀国大学校 早稲田大学共同学術大会

* 檀国大学校日本研究所 (韓国研究財団2017年度人文韓国プラス支援事業) / 早稲田大学教育・総合科学学術院 / スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点も主催

* 後援: 韓国研究財団 / 檀国大学校 / 早稲田大学

基調講演者: 李成市 (早稲田大学文学学術院教授) 研究発表者 計20名

2019年6月18日 戸山キャンパス 第11会議室

【共催】講演会「The Meiji at 150 Podcast」

* 主催: スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点 / 早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース (Global-J)

講演者: Tristan Grunow (ブリティッシュコロンビア大学助教授)

2019年6月21日 戸山キャンパス 第1会議室

【主催】講演会「日本学者の地図— Mapping a Life in Japanese Literary and Cultural Studies」

* 主催: スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点

講演者: ポール・アンドラ (コロンビア大学東アジア言語文化学部教授)

2019年6月23日 戸山キャンパス 第10会議室

【共催】ワークショップ「21世紀の人文知とは—世界の古典学から考える」

* 主催: 早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所

* 共催: スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点 / 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C) 16K02376) / ボストン大学世界言語・文学部 / 高麗大学校漢字漢文研究所

* 協賛: 早稲田大学総合研究機構

登壇者: ヴィーブケ・デーネーケ (ボストン大学教授)、河野貴美子 (早稲田大学文学学術院教授)、荒木浩 (国際日本文化研究センター教授) ほか、計12名

2019年6月27日 戸山キャンパス 第1会議室

【共催】対談と朗読会「Conversation and Readings by Rosanna Warren & Hiromi Ito」

* 主催: スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 早稲田大学国際日本学拠点 / 早稲田大学大学院文学

研究科国際日本学コース (Global-J)

* 共催：早稲田大学総合人文科学研究センター「創作と翻訳の超領域的研究」部門

登壇者：ロザンナ・ウォーレン（シカゴ大学教授）、伊藤比呂美（早稲田大学文学学術院教授）

2019年7月6日 戸山キャンパス第11会議室

【共催】講演会「戦後日本と映画理論：埴谷雄高の〈存在論的〉映画論について」

* 主催：早稲田大学総合人文科学研究センター「東アジアの人文知」部門

* 共催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点

講演者：山本直樹（カリフォルニア大学サンタバーバラ校助教授）

2019年7月12日 戸山キャンパス第10会議室

【共催】講演会「Translation and the Politics of Japanese Modernist Poetry: Conversation and Readings」

* 主催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース (Global-J)

* 共催：早稲田大学総合人文科学研究センター「創作と翻訳の超領域的研究」部門

講演者：中保佐和子（ブラウン大学助教授）

2019年7月25日 戸山キャンパス第1会議室

【共催】ハルオ・シラネ氏第26回山片蟠桃賞受賞記念講演会「四季の創造 日本文化と自然観の系譜」

* 主催：スーパー大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点

講演者：ハルオ・シラネ（コロンビア大学東アジア言語文化学部教授）

2019年9月5～7日 寧波大学人文与伝媒学院、天一閣博物館、寧波博物館、阿育王寺、天童寺

【主催】国際シンポジウム「グローバルな視点からの浙江地域と日本の文化交流史」

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／寧波大学浙東文化研究院／寧波大学浙東文化与海外華人研究院／波大学人文与伝媒学院も主催

* 共催：早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所／早稲田大学総合研究機構奈良美術研究所

報告者：田中史生（早稲田大学文学学術院教授）ほか、計15名

2019年11月2、3日 北京大学人文学苑3号楼3109会議室

【共催】中日古典学工作坊第二届學術研討会（第二回中日古典学ワークショップ）

* 主催：北京大学人文学部

* 共催：北京大学中国語言文学系／早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所／スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／科学研究費助成事業（基盤研究（C）16K02376）／2019年度特定課題研究助成費 C-052

基調講演：田中史生（早稲田大学文学学術院教授）ほか、計2名

報告者：計16名

青年論壇報告者：計16名

2019年11月15日 戸山キャンパス第1会議室

【共催】講演会とワークショップ「翻訳の力—詩歌を訳す？」

* 主催：早稲田大学総合人文科学研究センター「創作と翻訳の超領域的研究」部門

* 共催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／科学研究費助成事業（基盤研究（C）16K02377）

講演者：トーマス・マッコーリ（シェフィールド大学東アジア研究所助教授）、ジャニー・バイチマン（大東文化大学名誉教授）

短歌・和歌翻訳：アンドルー・ハウウェン（東京女子大学現代教養学部准教授）、ローレン・ウォーラー（イェール大学大学院博士候補生）

2020年2月28、29日 コロンビア大学 Kent Hall

【共催】コロンビア大学国際シンポジウムとワークショップ「International Symposium & Workshop in Japanese Literary and Visual Studies」

*共催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／コロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センター／コロンビア大学東アジア言語文化学部／コロンビア大学バーク日本美術研究センター

登壇者（シンポジウム）：ハルオ・シラネ（コロンビア大学東アジア言語文化学部教授）、小峯和明（立教大学名誉教授）ほか、計10名

登壇者（ワークショップ）：計15名

現代社会における「想像力」の総合的研究

2019年4月26日（金）

【主催】2019年度第1回「想像力」研究会

1件の報告がおこなわれた。

2019年6月21日（金）

【主催】2019年度第2回「想像力」研究会

2件の報告がおこなわれた。

2020年1月24日（金）

【主催】2019年度第3回「想像力」研究会

2件の報告がおこなわれた。

創作と翻訳の超領域的研究

2019年6月27日 戸山キャンパス 33号館第1会議室

【共催】対談と朗読会「Conversation and Readings by Rosanna Warren & Hiromi Ito」

*主催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース（Global-J）

*共催：早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

登壇者：ロザンナ・ウォーレン（詩人、シカゴ大学）、伊藤比呂美（詩人、早稲田大学）

司会：スティーブン・カール（詩人、早稲田大学）

※使用言語は英語

2019年7月12日 戸山キャンパス 33号館第10会議室

【共催】「Translation and the Politics of Japanese Modernist Poetry: Conversation and Readings with Sawako Nakayasu（モダニズム詩の翻訳と政治学対談と朗読 サワコ・ナカヤス氏を迎えて）」

*主催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／早稲田大学大学院文学研究科国際日本学コース（Global-J）

*共催：早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

登壇者：サワコ・ナカヤス（詩人、ブラウン大学）

司会、対談：ジョーダン A・Y・スミス（城西国際大学）、スティーブン・カール（詩人、早稲田大学）

※使用言語は英語

2019年11月15日 戸山キャンパス 33号館第1会議室

【主催】シンポジウム「翻訳の力—詩歌を訳す?—」

*共催：スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）早稲田大学国際日本学拠点／早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所／科学研究費助成事業（基盤研究（C）16K02377、代表：陣野英則）

司会：緑川真知子（早稲田大学・明治学院大学・関東学院大学大学院非常勤講師）

第一部 講演とコメント

- ①講演：トーマス・マッコリー（シェフィールド大学東アジア研究所助教授）
- ②講演：ジャニーン・バイチマン（大東文化大学名誉教授）
- ③コメント：マイケル・ワトソン（明治学院大学国際学部教授）

第二部 ワークショップ「翻訳合」&ディスカッション

- ①短歌翻訳：アンドルー・ハウウェン（東京女子大学現代教養学部准教授）
 - ②和歌翻訳：ローレン・ウォーラー（イエール大学大学院博士候補生、元高知県立大学准教授）
- ※他に文学学術院学生が試訳発表を行った
※使用言語は英語

境界の溶解と再編をめぐる学際的研究

2019年10月8日（火）早稲田大学戸山キャンパス 33号館 132教室

【主催】公開研究会「クィア理論と障害理論」

報告：1. 榊原賢二郎（東京大学大学院総合文化研究科 助教）

損傷の可塑的境界：疾患分類における加除についての試論

2. 飯野由里子（東京大学大学院教育学研究科 特任助教）

「障害の社会モデル」のポテンシャルを広げる：クィア理論からの問いかけ

3. 井芹真紀子（国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員）

「バッド・ロマンス」に抗して：「病む」身体と境界線の政治

司会・コーディネーター：森山至貴（早稲田大学准教授・同学総合人文科学研究センター研究員）

2020年1月7日（火）早稲田大学戸山キャンパス 現代人間論系室（33号館702）

Robert McRuer, *Crip Theory: Cultural Signs of Queerness and Disability* (NYU Press, 2006)

話題提供：森山至貴・豊田真穂・岡部耕典（ボーダー研研究員）

拡大するムスリム社会との共生

2019年6月15～17日 早稲田大学国際会議場

【共催】第6回国際マムルーク会議（6th Conference of the School of Mamluk Studies）

*主催：The School of Mamluk Studies / The Middle East Documentation Center at The University of Chicago / 早稲田大学文学部・大学院文学研究科「中東・イスラーム研究コース」 / 早稲田大学総合人文科学研究センター

*後援：鹿島学術振興財団、三島海雲記念財団

2019年6月18日 戸山キャンパス 39号館第7会議室

【共催】 Yehoshua Frenkel 博士 (University of Haifa)、Koby Yosef 博士 (Bar - Ilan University) 講演会

* 共催：早稲田大学文学部・大学院文学研究科「中東・イスラーム研究コース」／科研費基盤研究 (C) (18K01008) ／早稲田大学特定課題研究助成費 (2019C-094)

2019年6月27日 戸山キャンパス 36号館 581教室

【共催】 早稲田大学多元文化学会 2019年春期大会シンポジウム「アラブ音楽からみる世界」

* 主催：早稲田大学多元文化学会

* 共催：早稲田大学文化構想学部多元文化論系／早稲田大学総合人文科学研究センター「グローバル化社会における多元文化の構築」部門

2019年11月5日 戸山キャンパス 39号館第7会議室

【共催】 Julien Loiseau 教授 (Aix-Marseille University) 講演会「Seeking for Early Islam in Ethiopia: Landmarks for a Connected History of the Horn of Africa in the Middle Ages」

* 共催：早稲田大学文学部・大学院文学研究科「中東・イスラーム研究コース」／科研費基盤 (C) (18K01008) ／早稲田大学特定課題研究助成費 (2019C-094)

2019年11月9日 戸山キャンパス 39号館第5会議室

【共催】 Julien Loiseau 教授講演会「Wealth Transmission and Familial Strategies in Fifteenth-century Egypt: Reappraising Women's Position According to Endowment Documents」

* 共催：早稲田大学文学部・大学院文学研究科「中東・イスラーム研究コース」／科研費基盤 (C) (18K01008) ／科研費基盤 (B) (17H02381) ／早稲田大学特定課題研究助成費 (2019C-094)

心と身体の関係と可塑性に関する学際的研究

2019年5月22日 (水) 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】 第1回研究会

話題提供：村松聡、小村優太、宮田裕光、越川房子、森山至貴、西山達也、山部能宜

それぞれの研究員が5分ほどで、哲学、倫理学、宗教学、心理学、社会学などの各専門領域の視点から、各研究員の研究テーマの心身論との関わり、アプローチの仕方について自己紹介を兼ねて、説明、報告した。

2019年7月24日 (水) 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】 第2回研究会

話題提供：小村優太、村松聡、宮田裕光

第1回研究会を受けて、心身論への学際的なアプローチの仕方と可能性について報告した。小村は西洋古典哲学、一神教、近世以前の医学、村松は現代哲学、先端医療および治療、宮田は身体心理学、脳神経科学、生命科学の各観点からの心と身体の研究を紹介した。

2019年10月2日 (水) 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】 第3回研究会

話題提供：宮田裕光「心と身体をどう研究するか：最近のデータから」

身体の動きから心の形成を捉える身体心理学の視点について説明した。その上で、発声を伴う瞑想、笑いヨガ、武道 (剣術)、空手などの東洋の実践による、気分状態や性格特性の変容、マインドフルネス特性や心理的健康の向上などに関する近年のデータを紹介した。

2019年11月6日（水） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】第4回研究会

話題提供：村松聡「現代哲学における心身論の観点から：哲学的心身論の課題」

現代哲学、とりわけ英米系の分析哲学における心身論について簡単な紹介を行った上で、一つの潮流を形成している機能主義的心身理解の問題点を指摘し、心身の関係について探求する方向の可能性について言及した。

2019年12月4日（水） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】第5回研究会

話題提供：小村優太「古典哲学から見る心身問題」

古典哲学において取り上げられた心身問題から、それが近世を経て現代社会へと伝えられてゆく流れを、古代における心身二元論と唯物論という問題設定から、「自由意識と決定論」と「機械論的人間観」というふたつの視点に集中させて紹介した。

2020年2月19日（水） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館 702号室

【主催】第6回研究会

話題提供：小塩真司「研究ツールとメタ分析の可能性」

学際的な共同研究を行う上で有用となりうるツールはさまざまなものがある。各種ツールを紹介し、その応用可能性を議論した。また、過去の研究を統合するメタ分析について、研究を紹介するとともに心身論的な研究への応用可能性を検討した。